

無電柱化の日 俳句コンテスト

～心に描く電柱のない風景～

11月10日は、国で定めた「無電柱化の日」です。東京都では、「無電柱化の日」に合わせて
事業に対する都民の理解と関心を深めてもらうためイベントを開催しています。
今年は、11月9日(金)に『無電柱化の日 俳句コンテスト～心に描く電柱のない風景～』を開催しました。

俳句募集

テ – マ 『電柱のないこれからの街なみ』
部 門 一般の部/小・中学生の部
期 間 平成30年8月15日(水)～9月30日(日)

無電柱化の日イベント

日 時 11月9日(金) 16時～18時
場 所 都議会議事堂1階 都民ホール

応募句数 一般の部 3,844句
小・中学生の部 5,351句
計 9,195句

プログラム 一部 講演「街の風景を俳句にしよう」
講演者 田中 亜美(俳人)
二部 「電柱のないこれからの街なみ」
入賞作品の発表・紹介・表彰
出演者 小池 百合子(東京都知事)
田中 亜美(俳人)



俳句の応募総数は、計9,195句もの作品が集まりました。後援いただいた現代俳句協会の審査のもと、小池知事が都知事賞他を選定しました。

イベント当日は、小中学生も参加して和やかな雰囲気の中、第一部では、田中亜美氏(俳人)による「街の風景を俳句にしよう」の講演。街の風景を題材にした俳句を紹介しながら、俳句の魅力を講演頂きました。

第二部では、入賞作品の発表と紹介、表彰式を行いました。

小池知事は冒頭の挨拶で、「無電柱化を進めるためには、“コスト縮減への技術革新”と“住民の皆さんが意識をもつこと”が必要で、今回の俳句がキャッチフレーズになって都民の心を動かすことを望む、また効果を実感していただけるよう都内全域で取り組んでいきたい。」と述べました。

東京都では、入賞作品を工事広報看板へ掲示するなどキャッチフレーズとして活用していきます。

入賞作品

| | 一般の部 | 小・中学生の部 |
|----------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 都知事賞 | 無柱化や力士 <small>のぼり</small> の映ゆる空 | 無電柱みんなうれしい強い街 |
| 安心な街にしま賞 | わが町の電柱の無き日向ぼこ | 発展都市電柱ついに地下へ行く |
| 快適な道にしま賞 | 電柱の無き日銀河を近くする | ぼくのたこ自由に空をおよいでる |
| 良い景観にしま賞 | 東京の遠くが見える秋の空 | 電柱のないまちなみは <small>おおゆやけ</small> 大夕焼 |
| 優秀賞 | 防災都市広く自在に渡り鳥 | 彼方まで電線消えてうろこ雲 |
| | 電線のなき空釣瓶落しかな | いつまでもバリアフリーと無電柱 |
| | 燕来る五線譜のない空へまた | でんちゅうをなくして空とこんにちは |
| | いい景色無電柱化の「おもてなし」 | 消えていく虹と一緒に電柱も |
| | 東京の空は一枚小鳥来る | 電柱が緑の木々に変わる未来 |
| | 東京の景色を繋ごう五輪へと | 無電柱緑と青とその風と |